

## 2008年11月 植樹祭

ダイキン工業株式会社は国際 NGO コンサベーション・インターナショナルと協働でインドネシアにある「グヌングデ・パングランゴ国立公園」にてインドネシア森林省 MS KABAN 大臣列席の下、アグロフォレストプログラムの本格的な開始となる植樹祭を実施しました。

### 植樹祭実施概要

場 所:インドネシア ジャワ島 「グヌングデ・パングランゴ国立公園」

ナグラク・スカブミ村 (Desa Nagrak Sukabumi)

日 時:2008年11月5日(水) 午前10時～12時

現地時間(日本時間5日12時～14時)

現地コミュニティの盛大な歓迎の下、インドネシア森林省 MS KABAN 大臣の到着と共に植樹祭は始まりました。

国立公園の代表者など来賓からのスピーチに続き、大臣は「残存する森林を保全する事が大切であると同時に、現地コミュニティの経済的インセンティブを大切にするため、再植林しその中で混合作物を栽培するというアグロフォレストリーという手法を本プロジェクトで採用したことを評価する。」と述べられました。

ダイキン工業からは CSR・地球環境センター藤本室長が地球温暖化に触れた上で、企業の地球環境保全への貢献の必要性を述べ、ダイキン工業が商品や生産プロセスを通じた貢献をしていることをスピーチしました。

植樹では大臣をはじめダイキン工業、現地コミュニティ代表者などが国立公園内のオリジナル樹種 5 種類を植樹しました。



MS KABAN 大臣スピーチ



藤本室長スピーチ



植樹記念写真

現地インドネシアでの関心も高く、多くのプレスやメディアが取材に訪れ大臣をはじめダイキン工業に対して記者からの質問も多く寄せられました。



記者会見の様様

ダイキン工業は、今後、本プロジェクトにより地元コミュニティの代替生計手段開発支援や環境教育などを含む持続可能な開発と、生物多様性の保全につながる森林再生を目指しインドネシアのグヌングデ・パングランゴ国立公園で活動していきます。



藤本室長と大臣の握手

画像および文章の無断転用はご遠慮下さい。